

講演会「みんながハッピーな活動を目指して」を開催しました！

10月9日（金）に毎日新聞東京運動部副部長で公立小学校元PTA会長の山本浩資さんをお迎えし、「みんながハッピーな活動を目指して」と題してZOOMによる講演会を開催しました。事務局を合わせて115名の参加がありました。

活動の担い手不足という悩みは生協の組合員活動もPTA活動も共通しています。発想を転換し保護者や地域住民が積極的に参加したくなるような組織にPTAを改革された山本さんに魅力的な組織づくりのノウハウや担い手確保のためのヒントを学びました。

プログラム

- 10:00 開会 主催者あいさつ
- 10:05 講演会
「みんなが「ハッピーな活動を目指して」
講師：山本浩資氏
- 11:05 休憩
- 11:15 ブレークアウトセッション
気づき、感想、今後の活動にいかせること
- 11:35 発表
- 11:50 講評
- 11:55 閉会
～12:10 フリートーク



嶺町小学校 保護者と先生による 楽しむ学校応援団



PTOとは、Parent-Teacher Organizationの略です。



主催者あいさつ 千葉県生活協同組合連合会理事 上山精一

新型コロナウイルスの影響により、暮らしや働き方が大きく変わった中で、各生協は事業や活動が行われていると思います。自然災害や社会環境に対しても不安が募ります。その中で地域に密着した生協の役割は大きいと思います。しかしながら課題として、生協の組合員活動への参加者の減少が挙げられ、生協の活動の参加や方法について再考する時期に来ていると思います。講師の山本さんが携わったPTAの活動は生協の活動と共通することも多く、参加された皆さまの今後の活動のヒントになると思います。

『みんながハッピーな活動を目指して』

講師 毎日新聞東京運動部副部長
都内公立小学校元PTA会長 山本浩資氏



なぜ嶺小は
PTAではなく
PTOなのか？

東日本大震災を経験し自分と地域の関わり方を見直した結果のPTA会長就任。PTAという組織をだれもが楽しめる組織にするために仕事の可視化、保護者へのアンケートなどを行ってきました。そして社会の変化や生活スタイルの変化に合った今の保護者が参加しやすい形態としてボランティアという仕組みにたどり着きました。

仕事の見える化、生活スタイルの変化など現状を分析し、また誰のための組織かを再確認したことでみんなが笑顔で学校に関わることに！

6割の保護者が自発的に学校行事に参加。

親子で地域の行事を楽しめば東京のふるさが見えてくる。

学校へ来る機会が増えると子供やクラスの様子も分かる。

親の背中を見て学ぶボランティア精神。

会費を納めることもボランティア参加になるので気が楽に。

PTAは任意加入のボランティア



できる人が
できる時に
できることをやる

6年以上経ったいまでもボランティアで活動しています。

この後グループに分かれ、感想や気づきなどを話し合い、発表を行いました。

◎参加者アンケートより

(1) 今回の理解度 大変理解できた(78.3%)、まあまあ理解できた(20.5%)、普通(0%)、あまり理解できなかった(1.2%)、

(2) 今回の満足度 大変満足した(80.5%)、満足した(17.1%)、普通(1.2%)、あまり満足できなかった(1.2%)、不満(0%)

(3) 意見・感想(一部抜粋)

- ・山本さんのお話を聞き、私達が取り組んでいる生協の活動にも通じるものが多くあり、大変参考になった。前例を踏襲するのではなく、時代に合ったニーズを考え、活動していきたいと思った。まずは自分が活動を楽しみ、それをお知らせするためにはどんなことが必要かを考え、SNSでの発信やニュースなどを利用し、見える化を大事にしていきたい。
- ・日本の中に1人でもこんな発想で子どもにも大人にもハッピー感と充実感を味わえる人がいて良かった！ついて行く人が必ずいます。私もその1人になりたいです。
- ・「見える化」あるいは広報は、活動の楽しさや大切さを伝えられる。
- ・なかなか新しいことを始めるのは難しいですが、まずは自分たちが楽しむこと。そして「見える化」「お得感」は印象的でした。Instagramなど動画配信も少しずつ検討できたらと思う。

以上